

日本語の「～てならない」「～てたまらない」「～てしかたがない」の 許容度の対応について —日本語話者と中国語話者の比較—

杉村 泰

DOI: 10.18999/stul.35.123

1. はじめに

本稿は日本語の「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」の許容度の対応について論じたものである。この3語はいずれも動詞や形容詞に接続し、話し手の自発的感情や感覚の程度が高いことを表す表現である。これら3語の意味は似ているが、前節する動詞や形容詞に違いがある。本稿ではこれら3語の許容度を2語ずつ対応させて、日本語母語話者(以下「日本語話者」と呼ぶ)と中国語を母語とする上級日本語学習者(以下「中国語話者」と呼ぶ)の違いについて見る。

2. 先行研究

グループ・ジャマシイ(1998)では「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」の意味について次のように記述されている。

「～てならない」

自然にある感情や感覚が起こってきて自分ではコントロールできない状態を表す。押さえようとしても押さえられない状態で、そのためその感情の程度が非常に高いことを表す場合が多い。「…てならない」の前には感情や感覚や欲求を表す言葉が用いられ、ものの属性や評価についての言葉を用いると、不自然な文になる。(中略)「…てしかたがない」とほぼ同義だが、「…てしかたがない」とは違って、感情・感覚・欲求以外の言葉を用いるのは難しい。(p.258)

「～てたまらない」

話し手の感情・感覚・欲求の程度が激しいことを表す。(中略)「てしかたがない」とだいたい同義。(p.256)

「～てしかたがない」

自然に何らかの感情や感覚が起こってきて自分ではコントロールできない状態を表す。押さえようとしても押さえられない状態で、そのためその感情の程度が非常に高いことを表す場合が多い。「…てしかたがない」の前には感情や感覚や欲求を表す言葉が用いられるのが普通で、ものの属性や評価についての言葉を用いると、不自然な文になる。(p.254)

また、Makino and Tsutsui(1986, 1995)やグループ・ジャマシイ(1998)では次のような例文が挙げられている。しかし、筆者の語感では例(1)は「気になってしかたがない」の方が言いやすく、例(2)は「暑くてたまらない」の方が言いやすく、例(3)と例(4)は「～てならない/たまらない/しかたがない」のどれも言いにくく、「とても嫌いだ」、「泣いて、どうしようもない」と言った方が自然であると感じられる。

- (1) きょうの英語の試験の結果が気になってならない。(グループ・ジャマシイ 1998)
- (2) 東京の夏は暑くてならない。(Makino and Tsutsui 1995)
- (3) 数学が嫌いであたまらない。(Makino and Tsutsui 1986)
- (4) 赤ちゃんが朝から泣いてしかたがない。(グループ・ジャマシイ 1998)

また、庵・高梨・中西・山田(2001)では「～てたまらない」は我慢できないという意味を含むため「痛い、腹がすく」などの身体感覚と最もよくなじみ、「～てならない」は思考の表現には使えるが身体感覚の表現に使うとやや不自然であるとして、例(5)、例(6)が挙げられている。

- (5) 頭が痛く{○てしかたがない／○てたまらない／?てならない}。(庵・高梨・中西・山田 2001)
- (6) 学生時代のことが思い出され{○てしかたがない／?てたまらない／○てならない}。(庵・高梨・中西・山田 2001)

しかし、この説明も「～てならない」と「～てたまらない」の特徴は示されているものの、「～てしかたがない」の特徴までは示されていない。

これに対し、毛(2002)や杉村(2002, 2007a)ではコーパス調査 やアンケート調査を利用して、これら3語に前接する動詞や形容詞の特徴について論じている。

これを受け、杉村(2007b)ではコーパス調査(WWW ページ)とアンケート調査(○×式正誤判断テスト、多肢選択テスト)の関係について論じ、杉村(2015, 2018)では日本語母語話者と中国人日本語学習者の違いについて論じている。その結果、杉村(2018)ではこれら3語の違いについて次のように指摘した。

「～てならない」

「気がする」、「思える」、「残念だ」など自然にある思いがこみ上げてくることを表す表現と共起して、そうした思いが自然にこみ上げてきて頭から離れないほど甚だしいことを表す。

「～てたまらない」

「寂しい」、「暑い」、「痛い」など精神的・身体的な刺激によって生じる感情・感覚表現と共起して、そうした感情や感覚の程度が耐えられないほど甚だしいことを表す。

「～てしかたがない」

「気になる」、「腹が立つ」、「喉が渇く」など自然に湧き起こる感情や感覚を表す表現と共起して、そうした感情や感覚の程度が制御できないほど甚だしいことを表す。

しかし、杉村(2007b, 2015, 2018)では紙幅の関係により、許容度または選択率の上位10語までを表で示すに留まっている。そこで本稿では、調査した72語の前接語全ての許容度を散布図にして、日本語話者と中国語話者の持つ「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」の許容意識の違いを見ることにする。

3. 調査の概要

本稿では日本語話者と中国語話者を対象に、○×式正誤判断テスト(許容度調査)を実施して、両者の許容度の違いを比較する。これは被験者に当該の表現が言えるかどうかを

○×で判断してもらうもので、全被検者のうち「○」(言える)と答えた人の割合を許容度と見なす。

[アンケート形式]

質問 次の表現が正しいと思う場合は○を、正しくないと思う場合は×を入れて下さい。

(口頭で「迷ってもどちらか1つを選んで下さい」と言い添えた。)

()諦めてならない ()味がしてならない ()焦ってならない

以下略(全 72 語)

これと同様の調査を「～てたまらない」と「～てしかたがない」でも実施した。

[被検者]

- ・日本語話者 「～てならない」名古屋大学1年生 58 人(2004 年 11 月 18 日実施)
「～てたまらない」名古屋大学1年生 50 人(2005 年 5 月 9,12 日実施)
「～てしかたがない」名古屋大学1年生 50 人(2005 年 7 月 4,13 日実施)
- ・中国語話者 「～てならない」北京第二外国語学院日語系4年生、上海外国語大学日本文化経済学院4年生、台湾東呉大学日本語文学系4年生 合計 149 人(2004 年 11 月 24 日～12 月 24 日実施)
「～てたまらない」北京第二外国語学院日語系4年生、上海外国語大学日本文化経済学院4年生、台湾東呉大学日本語文学系4年生 合計 150 人(2005 年 3 月 10 日～4 月 20 日実施)
「～てしかたがない」北京第二外国語学院日語系4年生、上海外国語大学日本文化経済学院4年生、台湾東呉大学日本語文学系4年生 合計 150 人(2005 年 12 月 21 日～2006 年 2 月 28 日実施)

本調査では以下の 72 語の前接語(動詞 45 語、形容詞 27 語)を使用した。これらの語は CD-ROM 版「新潮文庫の 100 冊」において「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」のいずれかと共起しやすかったものを中心に、筆者の関心によって心理・感情を表す動詞や形容詞を選定し、さらに非心理動詞と属性形容詞を加えたものである。

心理動詞A: 自然に湧き上がって来る感情を表す動詞

(気がする、気になる、気がつく、感じる、感じられる、案じられる、期待される、想像される)

心理動詞B: ある種の感情を表す動詞(「～スルナ」の形で禁止を表し、相対的に心理動詞Aよりも感情のコントロールが効きやすい)

(焦る、慌てる、忘れる、諦める、感動する)

思考動詞: 脳による思考活動を表す動詞

(思う、思える、思われる、思いつく、考える、考えられる、考えつく、分かる、分からない)

生理動詞: 人の生理的反応を表す動詞

(喉が渇く、腹が減る)

知覚・感覚動詞: 人の感覚器官を通して感じる心理過程を表す動詞

(見える、聞こえる、におう、かおる、味がする、痛む)

感情動詞: 表示对外界刺激反応的人的心理作用的動詞

(腹が立つ、怒る、怒れる、笑う、笑える、泣く、泣ける)

非心理動詞: 心理活動を表さない動作動詞や変化動詞

(食べる、寝る、見る、聞く、起こる、沸く)

被動動詞: 後に受身の接辞「(ら)れる」が付いた動詞

(間違われる、聞かれる)

感情形容詞: 外界の刺激に反応する人の心理作用を表す形容詞

(寂しい、うれしい、恐ろしい、怖い、楽しい、残念だ、嫌だ、嫌いだ、好きだ)

感覚形容詞: 人の感覚器官を通して感じる心理活動を表す形容詞

(うるさい、苦しい、痛い、冷たい、暑い、寒い、暖かい、涼しい、おいしい、まずい、甘い、辛(から)い)

属性形容詞: 人や事物に備わる性質や特徴を表す形容詞

(広い、狭い、物価が高い、赤い、静かだ、元気だ)

4. 許容度の対応

本節では散布図を利用して「～てならない」と「～てたまらない」、「～てならない」と「～てしかたがない」、「～てたまらない」と「～てしかたがない」の順に2つずつ許容度を比較する。

図 1～6 の散布図において各グラフの左下から右上に伸びる線は線形近似曲線である。この散布図において①右上に行くほど X も Y も許容度が高いもの、②右下に行くほど X の許容度は高いが、Y の許容度は低いもの、③左下に行くほど X も Y も許容度が低いもの、④左上に行くほど X の許容度は低い、Y の許容度は高いものが来る。これを端的に示すと表 1 のようになる。

表 1 図 1～6 の概念図

| | |
|-------------------------|--------------------------|
| ④X の許容度は低い Y の許容度は高い | ①X も Y も許容度が高い |
| ③X も Y も許容度が低い | ②X の許容度は高いが Y の許容度は低い |

4.1 「～てならない」と「～てたまらない」の許容度の対応

4.1.1 日本語話者の場合

まず、日本語話者の「～てならない」と「～てたまらない」の前接語の特徴から見る。図 1 の右上の「～てならない」も「～てたまらない」も許容度が 80%以上の部分には「気がする」、「喉が渇く」、「寂しい」、「うるさい」、「嫌だ」という自発的な感情・感覚を表す動詞や形容詞が来ている。これらの語は後で見る「～てしかたがない」の許容度も高い。

一方、左下の「～てならない」も「～てたまらない」も許容度が 20%以下の部分には「食べる」、「寝る」、「見る」、「聞く」、「起こる」、「沸く」のような非心理動詞、「怒る」、「笑う」、「泣く」のような非自発形の感情動詞、「諦める」、「忘れる」のような心理動詞B、「考える」、「分かる」のような非自発形の思考動詞が来ている。これらの語は「～てしかたがない」の許容度も低い。

また、右下の「～てならない」の許容度が 80%以上で「～てたまらない」の許容度は 50%以下の部分や左上の「～てたまらない」の許容度が 80%以上で「～てならない」の許容度は 50%以下の部分にはどの語も来ていない。

以上のように、全体的に「～てならない」の許容度が高ければ「～てたまらない」の許容度も高く、「～てならない」の許容度が低ければ「～てたまらない」の許容度も低くなっている。また、許容度の上位と下位の両端部分は「～てしかたがない」の許容度も同様になっている。

ただし、線形近似曲線から右下に少し離れた位置には「思える」、「思われる」、「感じられる」、「案じられる」、「聞こえる」のように自発形の動詞が位置している。このことから自発形の動詞は相対的に「～てたまらない」より「～てならない」の方が付きやすいことが分かる。

一方、線形近似曲線の左上の「～てならない」の許容度が 20%で、「～てたまらない」の許容度が 80%の付近には「おいしい」、「^{から}辛い」、「甘い」、「好きだ」という味覚を表す感覚形容詞が来ている。これらの語は「～てたまらない」に付きやすく、「～てならない」には付きにくいようである。また、「～てならない」の許容度が 60～80%で、「～てたまらない」の許容度が 80%以上の部分には「痛い」、「暑い」、「寒い」、「苦しい」、「うれしい」という感覚・感情形容詞が来ている。これらの語は「～てならない」にも付くが、「～てたまらない」の方が付きやすいようである。

4.1.2 中国語話者の場合

次に中国語話者の「～てならない」と「～てたまらない」の前接語の特徴を見る。図 2 を見ると、右上の「～てならない」も「～てたまらない」も許容度が 80%以上の部分には「寂しい」、「痛い」、「暑い」、「寒い」、「苦しい」、「うるさい」、「うれしい」のような感覚・感情形容詞や「喉が渇く」という生理動詞が来ている。その一方で、日本語話者とは違い「気がする」が来っていない。中国語話者の「気がする」は図2の中央のすぐ下に位置しており、日本語話者の許容度とはかなり異なっている。

一方、左下の「～てならない」も「～てたまらない」も許容度が 20%以下の部分には「食べる」、「聞く」、「起こる」のような非心理動詞が来ているが、全体的に日本語話者より許容度がやや高くなっている。また、「諦める」、「忘れる」、「考える」、「思う」も日本語話者に比べて許容度が少し高くなっており、「泣く」、「笑う」、「怒る」はかなり高くなっている。このことは中国語話者もこれらの許容度を低く捉えているものの、日本語話者に比べて不自然であるという判断がききにくいことを示している。

また、全体的に日本語話者に比べて線形近似曲線から外れたものが少なく、「～てならない」と「～てたまらない」の許容度を同じように捉えている。このことから、中国語話者は「～てならない」と「～てたまらない」の区別をあまりしていないと考えられる。

さらに詳細に見ると、中国語話者は「～てならない」でも「～てたまらない」でも「痛い」、「寂しい」など感覚・感情形容詞の許容度が高く、「気がする」、「思われる」、「思える」など自発的な感情を表す動詞の許容度が低くなっている。このことから、中国語話者は「～てなら

ない」も「～てたまらない」も日本語話者の「～てたまらない」に近い感覚で捉えていることが窺える。

4.2 「～てならない」と「～てしかたがない」の許容度の対応

4.2.1 日本語話者の場合

次に日本語話者の「～てならない」と「～てしかたがない」の前接語の特徴を見る。図 3 を見ると、右上の「～てならない」も「～てしかたがない」も許容度が 80%以上の部分には「気がする」、「思える」、「喉が渇く」、「寂しい」、「うるさい」、「残念だ」が来ている。図1に似ているが、「思える」は「～てたまらない」の許容度は 66.0%しかないのに対し、「～てしかたがない」の許容度は 88.0%もあるという違いがある。この他、「思われる」、「感じられる」など自発形の動詞の許容度は、全体的に「～てたまらない」より「～てしかたがない」の方が高くなっている。その分、図1に比べて図3の方が右下の空白部分が広がっている。

一方、左下の「～てならない」も「～てしかたがない」も許容度が 20%以下の部分には「食べる」、「寝る」、「見る」、「聞く」、「起こる」、「沸く」のような非心理動詞、「怒る」、「笑う」、「泣く」のような非自発形の感情動詞、「諦める」、「忘れる」のような心理動詞B、「考える」、「分かる」のような非自発形の思考動詞が来ている。この点で図1と共通している。

また、右下の「～てならない」の許容度が 80%以上で「～てしかたがない」の許容度は 50%以下の部分や左上の「～てしかたがない」の許容度が 80%以上で「～てならない」の許容度は 50%以下の部分にはどの語も来ていない。この点でも図1と共通している。

さらに、図3では図1に比べて「暑い」、「寒い」、「痛い」、「甘い」、「辛い」などの感覚形容詞の位置が線形近似曲線^{から}の方向に下がっている。このことから、感覚形容詞は「～てたまらない」に比べて「～てしかたがない」には相対的に付きにくいことが分かる。ただし、「～てならない」に比べると「～てしかたがない」の方が付きやすい。

以上のように、図1の「～てならない」と「～てたまらない」に比べると、図3の「～てならない」と「～てしかたがない」の許容度の差は全体的に小さくなっている。このことから、「～てならない」と「～てたまらない」より「～てならない」と「～てしかたがない」の方が意味が近いと考えられる。

4.2.2 中国語話者の場合

次に中国語話者の「～てならない」と「～てしかたがない」の前接語の特徴を見る。図 4 を

見ると、右上の「～てならない」も「～てしかたがない」も許容度が 80%以上の部分には「寂しい」、「痛い」、「暑い」の3語しか来ておらず、図2の8語や図3の6語より少なくなっている。

同様に、左下の「～てならない」も「～てしかたがない」も許容度が 20%以下の部分も「食べる」、「聞く」、「分かる」、「味がする」の4語しか来ておらず、図2の7語や図3の 18 語より少なくなっている。

さらに図3と図4を比べると、中国語話者は日本語話者に比べて「～てしかたがない」の許容度が 80%以上の部分と 20%以下の部分が少なくなっている。このことから、中国語話者は「～てしかたがない」が使える・使えないという判断が「～てならない」や「～てたまらない」に比べてききにくいと考えられる。

また、図 4 の右下には「楽しい」、「おいしい」、「涼しい」、「暖かい」、「静かだ」、「広い」、「元気だ」という形容詞が並んでいる。このうち「楽しい」以外は日本語話者に比べて「～てならない」の許容度が高くなっている。一方、「楽しい」は日本語話者に比べて「～てしかたがない」の許容度が 34.7 ポイント低くなっている。その上で、これらの語は中国語話者にとって「～てしかたがない」より「～てならない」の許容度の方が高く捉えられている。この点で日本語話者とは違いがある。

一方、「思える」、「思われる」、「案じられる」、「笑える」、「泣ける」、「聞こえる」、「見える」などの自発形の動詞は、全体的に日本語話者に比べて「～てならない」の許容度も「～てしかたがない」の許容度も低くなっている。これらの語の場合、日本語話者は相対的に「～てならない」の許容度の方を高く捉えているのに対し、中国語話者は「～てしかたがない」の許容度の方を高く捉えているという違いがある。

4.3 「～てたまらない」と「～てしかたがない」の許容度の対応

4.3.1 日本語話者の場合

次に日本語話者の「～てたまらない」と「～てしかたがない」の前接語の特徴から見る。図 5 を見ると、図1や図3に比べて右上、中央、左下の3か所に大きく分かれていることが分かる。

右上の「～てたまらない」も「～てしかたがない」も許容度が 80%以上の部分には「気になる」、「腹が立つ」といった自発的な感情を表す動詞、「喉が渇く」、「腹が減る」といった生理動詞、「暑い」、「寒い」、「痛い」といった感覚形容詞が来ている。

一方、左下の「～てたまらない」も「～てしかたがない」も許容度が 20%以下の部分には「食べる」、「寝る」、「見る」、「聞く」、「起こる」、「沸く」のような非心理動詞、「怒る」、「笑う」、「泣く」のような非自発形の感情動詞、「諦める」、「忘れる」のような心理動詞B、「考える」、「分かる」のような非自発形の思考動詞が来ている。この点で図1や図3と共通している。

また、中央部分には「感じられる」、「思われる」、「案じられる」、「想像される」、「間違われる」、「考えられる」、「期待される」のようなラレル形の動詞や「聞こえる」、「怒れる」といった自発形の動詞が多く来ている。

4.3.2 中国語話者の場合

次に中国語話者の「～てたまらない」と「～てしかたがない」の前接語の特徴を見る。図 6 を見ると、図2や図4に比べて右上と左下の2か所に大きく分かれていることが分かる。また、図4と同様に「～てしかたがない」の許容度が 80%以上の部分と 20%以下の部分が少なくなっている。

右上の「～てたまらない」も「～てしかたがない」も許容度が 80%以上の部分には「寂しい」、「痛い」、「暑い」、「恐ろしい」のような感覚・感情形容詞が来ており、その下側にも「苦しい」、「寒い」、「うるさい」のような感覚・感情形容詞が来ている。このことから、中国語話者は「～てたまらない」も「～てしかたがない」も日本語話者の「～てたまらない」に近い感覚で許容度を捉えていると考えられる。

一方、左下の「～てたまらない」も「～てしかたがない」も許容度が 20%以下の部分には「寝る」、「食べる」、「聞く」、「起こる」、「分かる」、「味がする」のような非心理動詞が来ているが、全体的に日本語話者より許容度がやや高くなっている。

また、中央部分には「気がする」、「思われる」、「泣く」、「笑う」、「怒れる」、「赤い」、「期待される」などが来ている。

5. まとめ

以上、本稿では散布図を利用して日本語話者と中国語話者の「～てならない」「～てたまらない」「～てしかたがない」の許容度の違いについて論じた。その結果、これら3語の前接語の違いを散布図で視覚的に示した。

[参考文献]

- 庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘(2001)『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- グループ・ジャマシイ(1998)『日本語文型辞典』くろしお出版
- 杉村泰(2002)「コーパス調査による文法性判断の有効性—「～てならない」を例にして—」『日本語教育』114, pp.60-69. 日本語教育学会
- 杉村泰(2007a)「「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」の使い分け—日本語母語話者と日本語学習者の比較—」『世界の日本語教育』17, 1-15. 国際交流基金
- 杉村泰(2007b)「試論語料庫調査和問巻調査在語法研究上の異同—以日語複合助動詞“～てならない”、“～てたまらない”、“～てしかたがない”為例—」『日語研究』5, pp.155-168. 商務印書館
- 杉村泰(2015)「日本語話者と中国語話者の「～てならない」と「～てたまらない」—〇×式正誤判断テストと四者択一テストの比較—」劉曉芳(主編)『日語教育与日本学研究—大学日語教育研究国際研究会論文集(2014)—』, pp.1-5. 華東理工大学出版社
- 杉村泰(2018)「中国語話者における日本語の複合助辞「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」の前接語の選択」『中国語話者のための日本語教育研究』9, pp.1-16. 中国語話者のための日本語教育研究会
- 鄭惠先・小池真理・船橋瑞貴(2009)「『現代日本語書き言葉均衡コーパス』に見られる「～てならない」「～てたまらない」「～てしかたない」「～てしようがない」の使い分け—日本語学習者に対する指導への応用—」『北海道大学留学生センター紀要』13, pp.4-20. 北海道大学留学生センター
- 毛文偉(2002)「试析复合辞“～テナラナイ”, “～テショウガナイ”, “～テタマラナイ”的异同—语料库统计法在语法研究中的应用—」『解放军外国语学院学报』25-3, pp.62-66. 解放军外国语学院
- Makino, S., & Tsutsui, M. (1986) A dictionary of Basic Japanese. Grammar. Tokyo: The Japan Times.
- Makino, S., & Tsutsui, M. (1995), A dictionary of Intermediate Japanese Grammar. Tokyo: The Japan Times.

図1 「～てならない」と「～てたまらない」の許容度の対応(日本語話者)

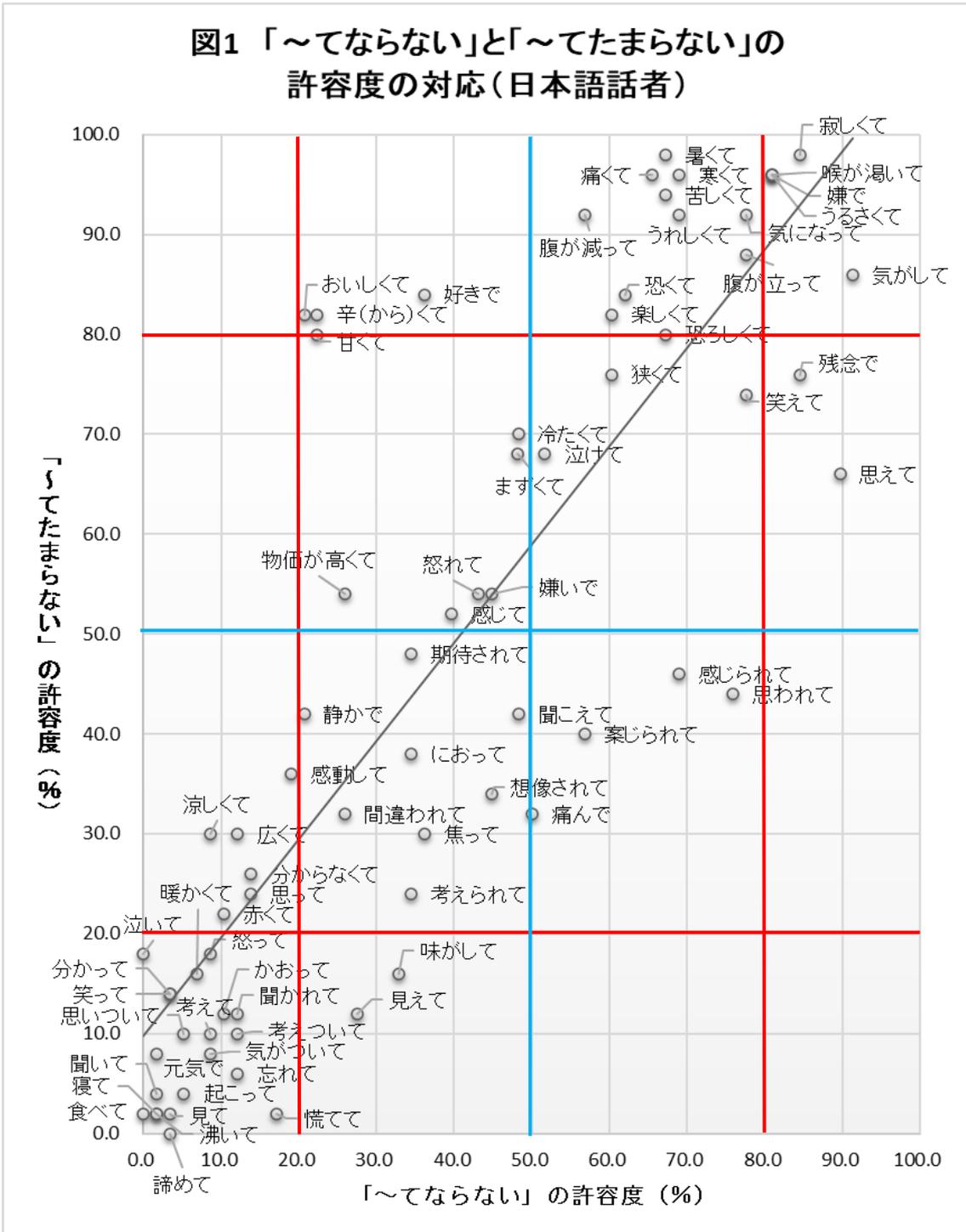


図3 「～てならない」と「～てしかたがない」の許容度の対応(日本語話者)

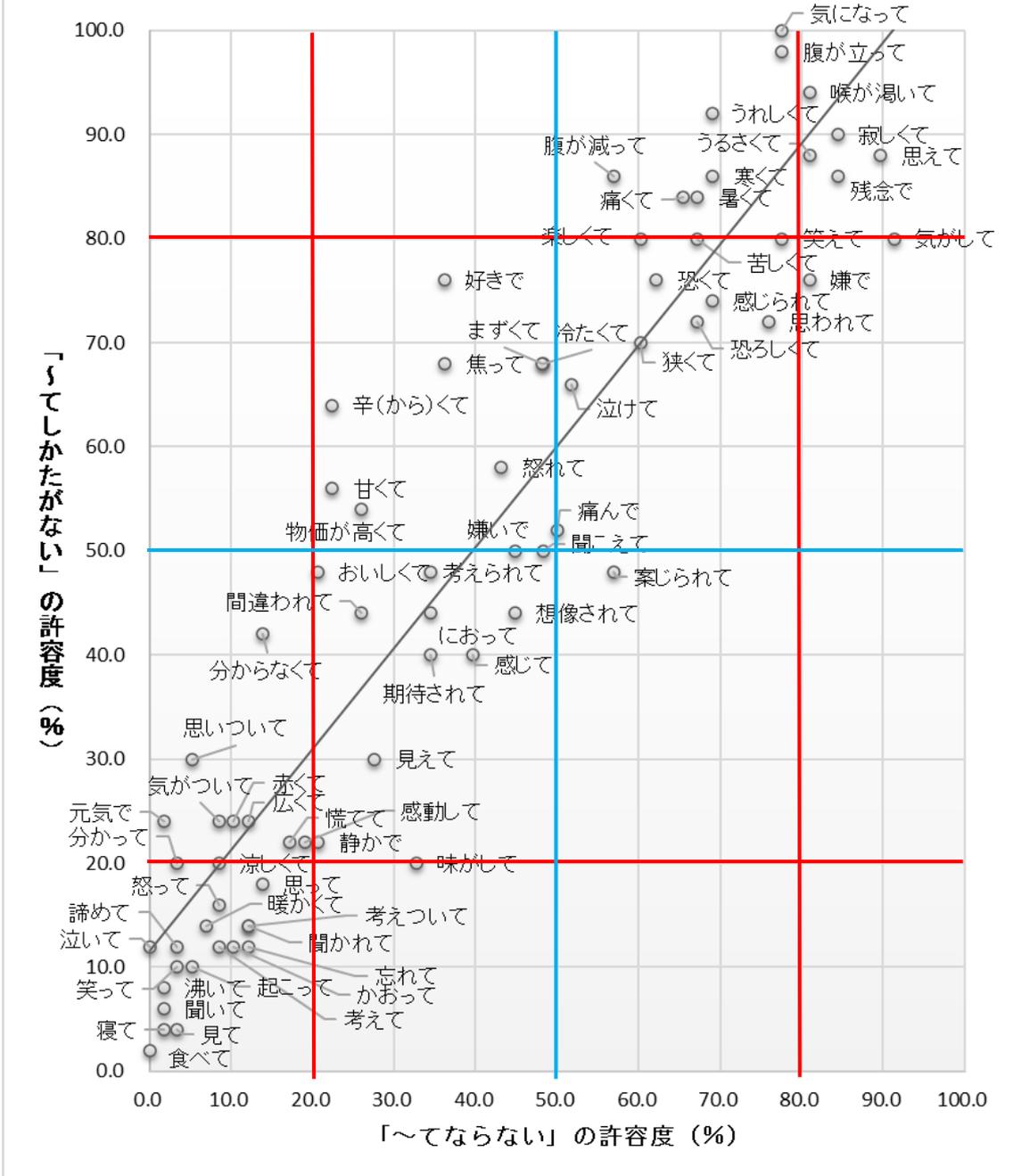


図4 「～てならない」と「～てしかたがない」の許容度の対応(中国語話者)

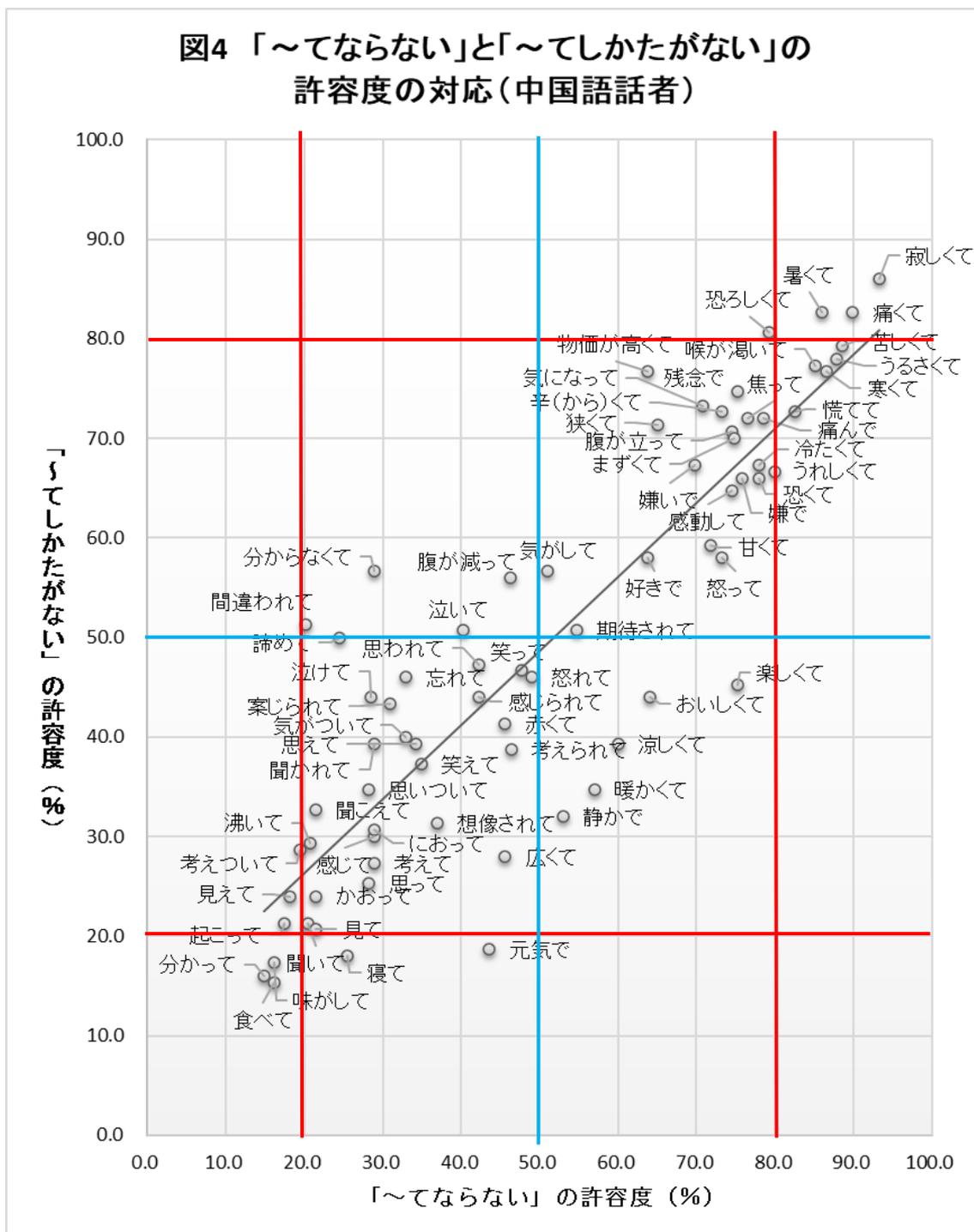


図5 「～てたまらない」と「～てしかたがない」の許容度の対応(日本語話者)

